

のしくやって、みんなにみせたいと思いました。べんきょうがんばってほめられるようにします。2年生になってべんきょうができるようになってうれしいと思います。

4月のF子の抱負と比較してみると、「べんきょうができるようになってうれしい」の記述から、F子は目標を達成しつつあると言える。

「Fちゃん、毎日がんばったからおべんきょうがわかるようになったんだよ。先生はかんしんしました。ほんとによくがんばったね。ごくろうさま。」と担任は日記の文末に書き、F子の努力と成長を認め、ほめている。

(3) 変容

① F子の変容

F子は、今年の抱負に「べんきょうができるようになりたい」と書いてから8カ月後「2年生になってべんきょうができるようになってうれしい」と日記に書けるまでになった。また、学校生活にも活気が出ている。

② 学級全体の変容

学級全体の8ヶ月間の変容として、どの児童も自分や物事を見る目が育ちつつあるといえる。

次の例は、音楽発表会で歌えなくなったグループの児童の日記である。

・・・3回も4回もまちがっていたらみんながいっしょにうたってくれました。・・・わたしたちがきんちょうしたのかな。それともれんしゅうがたりなかったのかな。・・・こんだからめいわくをかけたり、わたしたちがはずかしくならないようにしよう。みんなはやさしい気もちがあるんだな。

この文からわかるように、多少なりとも他とのかわりの中で自分を意識し、自分の内面を見つめ直そうとし始めてきている。

また、友人を思いやる温かい心情がこの日記以外にも数多く見受けられることは、学級全体に受容的な雰囲気醸成されていることであり、大変

望ましい姿になってきていると言っても過言ではない。

③ 教師の変容

日記指導をとおして、感性豊かな心と日常生活では見えにくい児童の側面をとらえることを願っていたA教諭であるが、F子との日記指導をとおして「児童は日々確かに成長していること、だから、どんな児童の場合でも決めつけてはいけないうことや親身になって対応していけば必ず児童はよいほうに伝えてくれることなどを改めて知らされた」と述べている。

(4) 実践した内容と各視点の関連

内容 \ 視点	1	2	3	4
感動を日記に書かせる		○	○	
意欲を高める	○			
よくなった点を紹介する		○		
自信を持たせる			○	
言葉かけをする				○
成長を認めほめる			○	
児童把握の諸検査をする	○			○
激励などのコメントをする	○			

(5) 考察

日記指導の事例をとおして「個を生かす学年・学級経営」をするための具体的な手だてのいくつかが明かとなった。

- ① 日記を書く理由を示す
- ② 書くことへの意欲づけをする
- ③ よい例を紹介する
- ④ 日記に関わること言葉かけをする
- ⑤ 認めたりほめたりして自信を持たせる

ことなどが上げられる。

また、日記をとおして個を生かす上での配慮事項として次のようなことがわかった。

個を生かす日記指導をするためには、

- ① ただ書かせるのではなく、書かせた後の教師のワンポイントメッセージを親身になって書いてやること